

★ ラインナップ ★

夏の星空

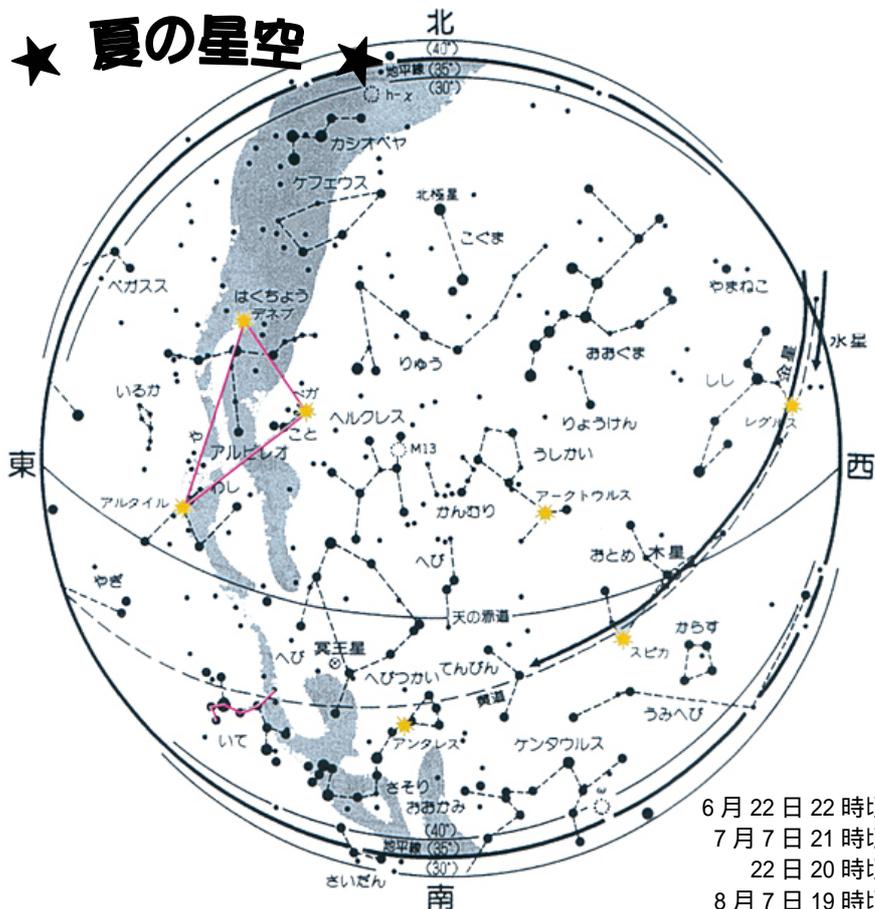
音楽のわかるイルカ ~いるか座~

目指せ！宇宙へ

カムバック シュミット望遠鏡！

夏は博物館へGO！ -イベント案内-

★ 夏の星空 ★



夏の星空の主演は、なんといっても“天の川 (Milky Way)”。初めて見るとそこだけ曇っているようなぼんやりした光が、南のさそり座からいて座、わし座、はくちょう座...と、北の空まで伸びています。さらに天の川は、はくちょう座からケフェウス座、カシオペア座、ペルセウス座、ぎょしゃ座、いっかくじゅう座、おおいぬ座と秋・冬の星空へと続き、日本では見ることのできない南天のとも座、みなみじゅうじ座、ケンタウルス座を通して、もとのさそり座へと戻ってきます。このように天の川は私たちの空をぐるっと一周するように流れ、夏に限らず一年中見えています。ではなぜ夏の星空の主演かということ...明るく川幅の広い天の川が見えているからです。特にいて座のあたりはもっとも明るく大きく見えています。

6月22日 22時頃
7月7日 21時頃
22日 20時頃
8月7日 19時頃

ています。それもそのはず、天の川の正体は私たちの銀河系に存在する約 2000 億個もの星々からのかすかな光。ちょうどいて座の方向には、星が密集した私たちの銀河系の中心があり、そのため明るく大きな天の川が夏に見えているのです。とは言っても、これは夜空の暗い場所での話です。街中では外灯などの街明かりが邪魔して、淡い天の川の光芒を見ることは難しくなっています。

天の川を見ることができなくても、夏の星空には街中でもハッキリとわかる明るい星が輝いています。頭上の方を見上げれば、明るい星が三つ。その中で、最も明るい星は「こと座」の1等星《ベガ》。七夕の“織女星”です。その東南に目を移すと、ベガより少し暗めの“牽牛星”、「わし座」の1等星《アルタイル》が見つかります。ベガとアルタイルの間には七夕のお話のとおり天の川が流れています。少し北よりにあるもう一つの星は、「はくちょう座」の1等星《デネブ》。三つの星のうち一番暗い星ですが、デネブから並んだ十字の星列は“北十字”と呼ばれ、そこから白鳥の姿を思い描くことができます。ベガ、アルタイル、デネブの三つの1等星を結んでできる少し細長い二等辺三角形は“夏の大三角”と呼ばれています。

天の川を下った南の空に、もう一つ明るい星が見えています。まるで火星のように赤く輝いて見えるこの星は“火星の敵”という名前がつけられた1等星《アンタレス》です。アンタレスを中心に、たくさんの星が大きなS字を描いて「さそり座」をつくります。アンタレスはちょうどさそりの心臓の位置

に輝き、東隣の「いて座」に狙われています。いて座のあたりを双眼鏡を使って見てみると、天の川をつくるたくさんの星々やその中にある星団・星雲が見えます。

音楽のわかるイルカ ~いるか座~

夏の夜空は、さそり座やはくちょう座、ヘルクレス座といった大きな星座たちでいっぱいです。そんな大星座に埋めつくされた星空の間には小さな星座があるの、知ってますか？ その一つ、海の人気者のイルカを見つけだしてみましょ！

わし座の隣でちっちゃな菱形をつくる四つの星。それに少し南にあるもう一つの星をくっつけると、これが「いるか座」の並びです。全部 4 等星以下の少し暗めの星がつくる小さな星座ですが、そのまとまった星の並びは見つけやすいはず。探し方は簡単！ 夏の大三角をつくる《アルタイル》を目印に、そこから少し北東に目を移せば菱形に並んだ星が見つかります。

このイルカ、古い星図を見てみると私たちが知っているかわいらしい姿ではなく、ちょっと怖い感じに描かれています。神話では海神ポセイドンが可愛がっていたイルカとか、音楽家アリオンを助けたイルカとかいわれています。今回はアリオンのお話を紹介しましょう。

詩人であり音楽家のアリオンは、参加した音楽コンクールから帰る船旅の途中、船員たちから命を狙われます。アリオンの手にはコンクールで優勝してもらったたくさんの賞金。それを狙った船員たちは、殺して奪ってしまおうと企んだのです。大勢の船員に囲まれ追い詰められたアリオンは、覚悟を決め、最後に一度だけ歌わせてほしいと頼みました。琴を弾きながら歌い始めると、その音色と歌声には船員たちまでもが聞きほれてしまうほどでした。そして歌い終わると、どうせ殺されてしまうならばと海へ飛び込みます。すると、海の中には歌に惹かれて集まっていたたくさんのイルカたち！ そのうちの一頭が彼を助け岬まで運んでくれたのでした。この心優しいイルカの姿が夏の夜空に輝くこととなったのです。

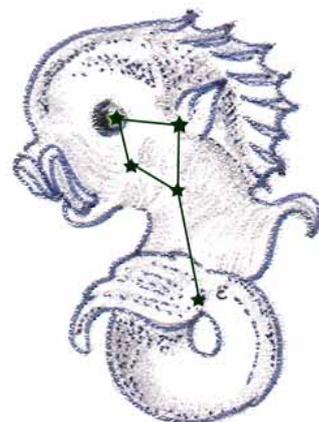
ちなみに。このお話の主人公アリオンは紀元前 7 世紀ごろに実在した人物といわれています。

★ 目指せ！ 宇宙へ ★

夏は七夕、スターウォッチング...と星空を楽しむイベントが盛りだくさん！ それに加えて、今年の夏から秋にかけては、宇宙探査の話題も目白押しです！

トップバッターは、6 月 26 日打ち上げ予定の X 線天文衛星「ASTRO-EII」！ 日本アストロ-EI-2の JAXA が進めてきたこの計画は、X 線というエネルギーの高い光を使って、地上の望遠鏡では観測できない激しく活動する熱い宇宙の姿をとらえます。実は今回の打ち上げは、2000 年に打ち上げ予定だった「ASTRO-E」の雪辱戦！ 今度こそは、と、世界中の期待がかかっています。

その 1 週間後の 7 月 4 日には、人類史上初の大イベントが宇宙で繰り広げられます。その名も「ディープインパクト」！ 「ディープインパクト」と聞いて、地球に巨大彗星が衝突した様子を描いたハリウッド映画を思い出す人も



弾丸を撃ち込むディープインパクト(予想図) (C)NASA

多いでしょう。そう、まさにこのミッションは、そんな映画のような話なんです！

ディープインパクトは、今年の1月13日にNASA（米）が打ち上げた彗星探査機です。ディープインパクト探査機は、太陽系にたくさん存在する彗星について詳しく調べるために、現在、おとめ座あたりにいるテンペル第1彗星に向けて進んでいます。そしてなんと到達後には、彗星へ弾丸を撃ち込むという、非常にエキサイティングなミッションを予定しています！

弾丸が彗星にぶつかったとき、いったいどんなことが起こるのでしょうか？ 巨大な花火とともに、深さ約25m、直径100mくらいのクレーターが出来るかもしれない！？ いや、なにも起こらないだろう、などなど研究者によって予想もさまざまです。この世界中が注目している衝突の瞬間は、探査機はもちろん、ハッブルをはじめ各機関の宇宙望遠鏡、そしてすばる望遠鏡など地上の望遠鏡たちも、いっせいにこの史上初のイベントを観測するために向けられる予定... 目が離せませんね！



打ち上げ準備に入ったディスカバリー号 (C)NASA

さらに7月下旬には、スペースシャトル「ディスカバリー号」の打ち上げ再開も予定されています。2003年の「コロンビア号」の事故以来、飛行が中断されてきたスペースシャトルですが、国際宇宙ステーションの建設再開に向けて、また宇宙へ飛び立ちます。今回は日本からは野口聡一宇宙飛行士が搭乗する予定！ こちらも楽しみですね！

そして忘れちゃいけないのが小惑星探査機「はやぶさ」！ JAXAが2003年5月に打ち上げた「はやぶさ」が、この秋、いよいよ小惑星「イトカワ」へ到着します。世界初のサンプルリターン（小惑星の土などを持ちかえる）計画を予定しているこのミッションも注目ですよ！

ほかにも、いろいろな惑星探査機の打ち上げや活躍が期待される今年の夏！ 宇宙からの最新ニュースに注目してくださいね！

★ 国体開催記念イベント キラリ晴れの国！ 竹林寺発 採火式 ~カムバック シュミット式望遠鏡~ ★

いよいよ今年は「晴れの国おかやま国体」！ 鴨方町でも10月23~26日、成年男子バスケットボール競技が行われます。楽しみですね！ さて国体といえば炬火（きょか）リレー。実は昭和37年に開催された前回の岡山国体では、炬火リレーのための採火式が、ここ岡山観測所で、60cmシュミット式望遠鏡を太陽に向けて太陽光を採るという方法で行われました。そして今回の国体でも、そのときと同じ方法で採火式が再現されます！ めったに見られない望遠鏡での採火の瞬間、ぜひ見に来ませんか？

日時：平成17年7月14日（木）9:00~11:00（秋季大会開催100日前）

場所：岡山天文博物館 駐車場（雨天の場合 鴨方町民会館大ホール）

内容：60cmシュミット式望遠鏡による採火、アトラクション（金光町、鴨方町、寄島町による遥照太鼓、ももっち音頭、歌と踊り）ほか。 * 当日は交通が規制される場合があります。詳しくは博物館

< 編集後記 >

先日、博物館 vs 岡山観測所のソフトボール大会を開催。見事な逆転サヨナラ勝ち！でも個人成績は... 次に向けて練習だー！！ tomo

ここ数年、季節を先取り(?)の私。さっそく今年も夏休みを満喫してきました！ 南の島で珊瑚礁に癒され、あー、リフレッシュ！！ でもちょっと日焼けしすぎてヒリヒリしてます...(泣) Yumi

2005・夏は博物館へGO!

プラネタリウム夏番組 6/11～9/4

『キミは未来の宇宙飛行士』

「宇宙へ行ってみたい！」みなさんも一度はそんなふうに思ったことないですか？

でも宇宙飛行士になるのは大変みたいだし、そもそも宇宙でちゃんと生活できるのかな？

番組では、実際に宇宙で撮影されたさまざまな映像を紹介しながら、宇宙飛行士について、そして宇宙の不思議についてわかりやすく紹介します！

(投映時間 約 40 分：夏の星座紹介含む)



『昼間の天体観測会』

太陽や金星を望遠鏡で観測しよう！ 太陽の黒点スケッチもできますよ。

日 時：8/2～7 開館時間ならいつでも OK！

備 考：晴天時のみ。申込み・参加費不要。

(ただし入館料必要)

* 通常の太陽観測もできます

工作教室 『ステラスコープを作ろう』

身近な材料を使って、筒型のカッコイイ星座早見盤・ステラスコープを作ろう！

日 時：8/6 (土) 13:00～(約1時間半)

参加費：材料費(600円 入館料含む)

対 象：小学生以上(定員約15名)

申込み：事前に博物館へ

お申込みください



プラネタリウム特別投映 『夏の星座たちを探そう』

夏の夜空を彩る星座たちを探してみませんか？ 星座早見盤の使い方・星座探しのコツを紹介します。ここで練習して本当の星空に挑戦だー！

日 時：8/6 (土) 14:30～(約30分)

備 考：申込み・参加費不要(ただし入館料必要)

* 可能なら星座早見盤と小さな懐中電灯をお持ちください。ステラスコープも OK！

工作・実験教室

『巨大シャボン玉を作ろう』

大きなシャボン玉や道具を作ってみよう！もしかしたらシャボン玉の中にも入れちゃうかも？

日 時：8/20 (土) 13:00～(約1時間半)

対 象：小学生以上

備 考：申込み・参加費不要(ただし入館料必要) 雨天時21日(日)に順延。

* 手作りシャボン玉セット(100円)もあるよ！

国立天文台岡山天体物理観測所・岡山天文博物館

特別公開 『感じてみよう大きな望遠鏡』

普段はガラス越しにしか見られない 188cm 望遠鏡をはじめ、観測所の施設を大公開！ 博物館では今年も、プラネタリウム、太陽観測、工作コーナー、星座・天体ビンゴゲーム、クイズラリーなど子度向けイベント盛りだくさんです！

日 時：8/27 (土) 9:00～17:00

(受付は 16:30 まで)

備 考：申込み・参加費・入館料不要。

雨天決行。

* 詳しくはホームページをご覧ください

この博物館通信は、岡山天文博物館が作成しています。次回 秋号は 9 月ごろ 発行予定です。

岡山天文博物館 浅口郡鴨方町本庄 3037-5 TEL・FAX 0865(44)2465 休館日：月曜・祝日の翌日

博物館ホームページ <http://www.rweb.ne.jp/astro/index.html>